

## **「あいち生物多様性企業認定制度」において優良企業に認証されました**

トヨタ車体は、愛知県が今年4月に創設した「あいち生物多様性企業認証制度」において、地域への広がりや継続性があるなど、とくに優れた取り組みを行っている企業として「優良認証」されました。

愛知県内では「あいち生物多様性戦略 2030（2021年2月策定）」に基づき、企業、大学、環境保全団体、行政等が生物多様性保全に関する取り組みを推進しています。その中で企業は、企業敷地を活用したビオトープの整備や社員の保全活動への参加など大きな役割を担っており、今後、企業が地域の核となり生物多様性保全に貢献していくなどの取り組みを促進するため、優れた取り組みを実践している企業を県が認証する「あいち生物多様性企業認証制度」を創設しました。

トヨタ車体では、5年ごとに環境取り組みプランを策定し、その目標達成のためにトヨタ車体グループ全体で取り組みを推進しています。

2014年に富士松工場隣接地に開設した「トヨタ車体 刈谷 ふれ愛パーク」内のビオトープでは様々な生き物を生息させるほか、生態系維持にも取り組んでいます。また、産官民学で連携した自然体験学習や体験学習会を年に20数回開催し、次世代の担い手の育成にも取り組んでいます。

社内においては、イントラネット内での情報発信や、学べるテキストを整備し、常時、従業員が閲覧できます。また、新入社員教育のカリキュラムにも自然体験学習を織り込み、生物多様性の重要性について理解を深めています。

また、ふれあいパークをはじめとする周辺地域の希少生物の保全にも取り組んでいます。また、生態系を守るため2017年から地域や自治体、大学、専門家と連携し、外来種除去活動を行い、その活動範囲は広がってきています。

### ■ 優良認証企業として評価された点

- ・生き物の生息環境をつなぐ拠点となる「トヨタ車体 刈谷 ふれ愛パーク」を整備し、企業、行政、大学等と連携して、生物多様性保全の取り組みを行っている。
- ・パーク内では、ガガブタ等の希少種の保全や、生物のモニタリング調査等を行っている。次世代の担い手づくり事業の一環として、大学と連携した出前講座等も実施している。
- ・工場近隣の池では、企業、大学、行政等と連携してアカミミガメ等の外来種の駆除活動も実施している。

トヨタ車体は、これからも地域や産官民学で連携し、「刈谷ふれ愛パーク」周辺の活動を通じて生物多様性の重要性を伝えるとともに、活動次世代の育成にも継続して取り組んでまいります。

トヨタ車体 刈谷ふれ愛パーク <https://www.toyota-body.co.jp/kfureai-park/>

